

## 著者紹介

### 相田美砂子

国立がんセンター研究所研究員を経て1998年より現職。生体高分子の構造と機能に関する理論化学的研究や凝集系への理論的取り組みに取り組んでいる。

### 秋山 泰 (正会員)

1990年慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。京都大学化学研究所助教授、工業技術院電子技術総合研究所主任研究官などを経て、2001年から産業技術総合研究所生命情報科学研究センター研究センター長。

### 阿草 清滋 (正会員)

昭和22年生。名古屋大学情報科学研究科研究科長。ソフトウェア工学分野の研究に従事。現在はWeb応用ソフトの高信頼化、組み込みソフトウェア人材育成のプロジェクトを推進している。

### 浅井 潔 (正会員)

昭和60年東京大学大学院工学系研究科計数工学専門課程(修士課程)修了。同年電子技術総合研究所入所。平成13年産業技術総合研究所生命情報科学研究センター副研究センター長。平成15年より東京大学教授。博士(工学)。

### 占部浩一郎

1982年通商産業省入省。2000～04年6月まで、CICCシンガポール(JETROシンガポール)に赴任。アジアに対するIT協力、IT動向の調査などを担当。

### 遠藤 諭

1956年長岡市生。(株)アスキー取締役、月刊アスキー編集主幹。アスキー入社前のプログラマ時代にカルトマガジン「東京おとなクラブ」を創刊。著書「計算機屋かく戦えり」、「近代プログラマの夕べ」。

### 岡 浩太郎

1988年慶應義塾大学大学院計測工学専攻修了(工学博士)。(株)富士通研究所を経て1995年より慶應義塾大学理工学部、2002年より生命情報学助教授。研究分野：システム生物学、生物物理学。

### 川合 慧 (正会員)

1944年生。1967年東京大学理学部卒業。1969年同大同学部助手。1977～78年英国ケンブリッジ大学客員研究員。1979年同大理学部講師。1984年同大教育用計算機センター助教授。1988年同大教養学部教授。1996年同大総合文化研究科教授。電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、ACM各会員。

### 倉沢 良明

キヤノン、キヤノン販売、Canon USAで、オンライン化、EDI構築、販売店向けVAN等販売管理システムの開発、運用を担当。現在、キヤノン(株)PF開発本部在籍。XMLコンソーシアムエバンジェリスト。

### 五島 正裕 (正会員)

1996年京都大学工学研究科博士後期課程退学。同大工学部助手。2004年同大博士(情報学)。高性能計算機の研究に従事。2001年本会山下記念研究賞、2002年本会論文賞受賞。IEEE会員。

### 榎原 康文 (正会員)

1985年東京工業大学大学院理工学研究科情報科学専攻修士課程修了。富士通(株)国際情報社会科学研究所、東京電機大学を経て、2002年から慶應義塾大学理工学部生命情報学助教授。博士(理学)。産業技術総合研究所生命情報科学研究センター客員研究員。バイオインフォマティクス、DNAコンピュータの研究に従事。

### 芹澤 善積

1980年京都大学大学院電気工学第二専攻修了。同年、(財)電力中央研究所入所。現在、同所通信システム領域リーダー。無線通信、電波伝搬、電力用通信、電力系統保護制御システムなどの研究に従事。工学博士。

### 高橋 規生 (正会員)

1993年東京工業大学大学院総合理工学研究科材料科学専攻修士課程修了。同年(株)日立製作所入社。OLTP、分散オブジェクト、J2EE技術等の研究、開発を経て、XML関連技術開発に従事。現在に至る。

### 中谷 淳

1993年慶應義塾大学卒業。同年富士通(株)に入社し、アジア・パシフィック向けの海外営業に従事。2002年JETROに出向。2003年CICCシンガポール事務所に赴任。現在に至る。

### 平山 雅之 (正会員)

1986年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程前期修了。同年(株)東芝入社。2003年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。現在、(株)東芝ソフトウェア技術センター参事。2004年よりIPAソフトウェアエンジニアリングセンター兼務。ソフトウェアの品質・信頼性技術に関する研究に従事。博士(工学)。

### 廣瀬 正

慶應義塾大学大学院計測工学修士課程修了。日立製作所システム開発研究所入所。OS、DB、ソフトウェア開発技術、AI研究に従事のもの。情報通信事業の事業企画を担当。現職、President, Hitachi America CVC。現在の研究分野は Management of technology。IEEE 会員。E-mail: tadashi.hirose@hal.hitachi.com  
<http://www.hitachi.co.jp/cvc/>

### 藤井 直人

1990年岡山大学大学院工学研究科修了。同年オムロン(株)入社。1995年(株)アイアイジェイメディアコミュニケーションズ入社。IPマルチキャスト技術の普及に努める。2004年(株)

インターネットイニシアティブ関西支社技術部に異動。現在、主にSI、NI案件のマネージメントに従事。

### 益田 隆司 (正会員)

昭和38年東京大学工学部卒業。昭和40年(株)日立製作所。昭和52年筑波大学講師、助教授、教授。昭和63年東京大学理学部情報科学科教授。平成7～9年同大理学部長、大学院理学系研究科長。平成12年電気通信大学教授。平成16年より同大校長。本会論文誌編集委員、研究会主査、理事、監事を歴任。現在本会会長。

### 松下 晶子

(株)日立製作所入社後、ソフトウェア事業部にてOLTPの開発。金融システム事業部にてデューリング、情報開示等のシステム構築を経て、XML関連ビジネスに従事。2002年よりXBRL Japan 運営委員。

### 宮原 秀夫 (正会員)

1943年生。大阪大学工学部通信工学科卒業。同大工学部助手、京都大学工学部助手などをを経て、大阪大学基礎工学部教授となる。2003年大阪大学総長就任。2004年国立大学法人大阪大学総長。

### 森本 浩司

(株)日立システムアンドサービスにて、XBRL処理ライブラリ開発にかかわるとともにXBRL Japan開発委員会、金融委員会などに参加。現在に至る。

### 柳川 堯

久留米大学教授・バイオ統計センター所長。九州大学名誉教授。日本学術会議会員。1966年九州大学大学院理学研究科修士課程修了。現在の主たる研究テーマ：離散多変量データ解析、環境汚染物質の健康リスク評価、カオスの時系列データ解析に関する研究。著書「環境と健康データ」(単著、共立出版、東京、2003)など多数。日本計量生物学会、American Statistical Association、International Statistical Institute各会員。

### 山岸 利行

1991年東京理科大学理学部応用数学課卒業。同年、日立製作所入社。自治体向け財務会計システム開発、企業間高取引サービスの企画・提供等に従事。現在はXBRLの顧客適用を担当。

### 山崎 憲

内科認定医。専門は循環器内科学(画像診断)、臨床情報学(臨床データベース)。日本循環器学会会員。

### 山崎 力

東京大学医学部医学科卒業。同大第三内科、保健管理センター、薬剤疫学講座を経て同大学院医学研究科クリニカルバイオインフォマティクス研究ユニット教授。専門は、臨床疫学、ゲノム科学、循環器病学。

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ(<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>)をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社)情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、12月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。

まず、特集「天文学をサポートする情報新技術」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■子供のときに、宇宙存在に感動を覚えた人は、あまたおられるだろう。小生もその1人だが、今回の特集は、その感動を呼びさしながら、興味深く読ませていただいた。と同時に、現代社会のあらゆる領域を支えているITについて、もっと啓蒙的(中・高校生を対象に)な活動を推進するのも貴会のミッションの1つでは、とも思った。(雪野 清)

■最初、今回の特集のタイトルを見たときに、天文学と情報技術との関係というのがピンとこなかったのですが、特集を読んで、情報技術が現在の天文学を支えているというのを強く感じました。富士山頂サブミリ波望遠鏡についての文章を読んで、完全無人で装置を運用するというのはさまざまな要因により非常に困難であり、そこにはいくつもの超えなければならぬ問題があるということがよく分かりました。(片山聡一郎)

■ついに天文学の分野にもデジタル技術が深く浸透してきたことを思い知らされました。観測のための技術は必然的な流れでしょうが、特に人に見せるためのシミュレーションは反面、何億年もかけて流れてきた宇宙の歴史がゲーム感覚で瞬時にして再現されるため、天文学に対する神秘的なロマンがだんだんと薄らいていくような気がします。(匿名希望)

■広大な宇宙を対象とする天文学の情報技術の活用進展は気象等の地球物理学、さらに宇宙工学等周辺分野の科学技術にも少なからずの影響と波及効果を及ぼすであろう。実天文台とバーチャル天文台との連携・相互補完は今後一層深まる。(匿名希望)

■大変興味深い内容でした。天文学から遠い所にいる身には、個々の記事が分かりやすく書かれていたことだけでなく、水本氏の序文が、天文学と情報技術との関係について全体を分かりやすく俯瞰していたことが素晴らしいと思います。(匿名希望)

■天文学のIT技術は関心外だったので、その進展に驚いた。SETI@homeプロジェクト等は知っていたが、私のイメージはいまだに可視光の光学望遠鏡+フィルム程度なので、日本の天文台でも年間1ペタバイトの観測データが蓄積され利用されていると聞いて驚いた。(匿名希望)

■天文学はまったく知らない分野だったが、特集が大変面白かった。情報処理技術としてよりも、天文学の1分野として楽しんだ。情報処理技術は今や多くの分野を支える基盤技術分野であることを実感

した。これからも物理学、経済学、社会学などにおける応用についての記事を望む。(匿名希望)

■天文学と情報学との接点分かりやすく解説されており、勉強になりました。(水野光朗)

■天文学に情報処理がこれほど深く関与しているとは知らなかった。大変興味深く読んだ。これからも先端科学の分野で情報処理に関してどのような取り組みがされているか、別の分野でも紹介してほしい。(匿名希望)

コラム「インターネット生活向上委員会：携帯電話で生活向上」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■携帯電話の定額制が普及してきて、個人的にも(サーバさえあれば)いろいろな利用が可能になってきています。が、パスワードを入力しようとする、一瞬でも画面に表示されてしまうのが悩みです。あるいは、ゲートウェイが変わるせいか、パスワード入力を何度も促されたり。キャリア/機種によっても違うのでしょうか。(匿名希望)

■私は、大学でネットワーク管理者をしています。現在、学生が学外から大学のメールサーバを利用するにあたり、今後どのような問題が発生し、どのように対応するべきかを議論しています。携帯電話の普及により、気軽に学生がメールを使う状況のなかで、各大学が学生に与えるメールアカウントをどのように取り扱っているかが知りたいです。大学で取り組むべき情報教育について、取り上げてもらえるとうれしいです。(匿名希望)

■すでに手元にある本をさらに買ってることが、現実にあるのかと驚きました。(水野光朗)

コラム「アジアIT事情：中国のIT事情」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■急激に経済成長を遂げてきた中国のIT状況をおおまかに理解できた。まだまだ都市部と農村部との格差は大きいようだが、農村部に大きなマーケットが眠っていることは確かなようだ。(匿名希望)

■毎回IT産業という観点からその国の社会状況が述べられているので、各国の社会情勢や文化の違いといったものを非常に分かりやすかたちで知ることができて、毎回楽しく読ませていただいています。(片山聡一郎)

■中国の場合、沿岸部と内陸部では経済格差が大きく、社会問題となっています。経済格差に起因する情報格差(デジタル・ディバイド)をどうするのかという点にも関心を持っています。(水野光朗)

■近い将来ITに限らず巨大マーケットになる中国の話題なので興味深く読ませていただきました。今後、LinuxをOSとした組み込みシステムが普及することを期待します。(匿名希望)

コラム「日本のIT事情：デジタル技術を愛する人は同時に、それに苦しまなければならぬ」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■デジタル技術のいわば、「副作用」ともいえる問題が提示されていると思います。こうした「副作用」をどのように乗り越えるかが今後の課題ともいえるのではないのでしょうか。(水野光朗)

■寺垣語録を読んで、情報やデジタルを扱う際にはこのような視点を持って臨むことが、それらに振り回されずに活用するためには必要なのではないかと感じた。(片山聡一郎)

解説「大規模災害に対する減災情報システム(後編)」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■新潟県中越地震、インド洋津波の記憶も生々しい折、非常にタイムリーな記事だと思います。特にインド洋津波は短時間のうちに10万人以上の犠牲者が出たことから、たとえばマグニチュード9前後の巨大地震や10mを超える津波が首都圏を襲ったときに、情報システムの多角的な支援によっていかにして「減災」するか、という視点は非常に重要であると痛感しました(もっとも「死者最悪28,000人」という試算は、インド洋津波の例を見ると少し楽観的に思えるのですが、日本の「減災」体制・技術はそこまで進んでいるということでしょうか?)(匿名希望)

■新潟中越地震、スマトラ沖地震と災害が続くなか、災害が起きたその後の情報、対策がいかに重要かを皆再認識したのではないかと思います。減災情報システムについて、さらなる研究が行われるとよいと思いました。(匿名希望)

■インドネシア・スマトラ沖地震は、早期通知システムおよび制度があれば、多くの人命を救うこと(減災)ができた災害であったと思います。その意味から「大規模災害に対する減災情報システム」の研究・開発の必要性を強く感じました。また、阪神大震災を経験した日本が、イニシアティブをとりつつ世界各国における減災情報システムと制度の拡充を強力に推進していくことを期待します。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■今月号は自然現象、自然災害にかかわる記事がメインのようにお見受けしました。2004年は国内外での災害も多く、観測やそこから得られた情報の処理技術などは多くの人にとって関心のあることのように思います。大変興味深く読ませていただきました。(佐藤慶三)

■「プログラム・プロムナード：国内予選を突破せよ」は手頃な問題ばかりでちょっとした頭の体操にちょうど良かったです。ぜひとも予選で出題された残りの3題についても取り上げてほしいです。(片山聡一郎)

■「Webサービス：Webサービスの標準化と相互接続性」に関して、Webサービスの標準化と相互接続性の標準仕様の決め方について、非常に興味を持った。(亀井靖高)

■コラム「情報技術と教育：独創と改善」に関して、教育学をディシプリンとする方からのコメントも聞きたいと思いました。(水野光朗)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■1~2ページの分量で、やさしい英語で書かれた論説を掲載してほしいと思います。読者の対象は、情報系のみならず広く理系の学部学生(教養課程)にしていだければ、とても助かります。英語の講義も担当することになりましたが、理系の学部学生(教養課程)向けに作られた教材がとても少なく困っています。文学小説や映画のシナリオがよく用いられますが、理工系の文章とは、文体が異なります。入学後の早い時期から情報系の英語に親しませることができれば、将来専門課程に進んだ時に、輪読がやりやすくなるのではとも思っております。(水野光朗)

■中国での携帯電話の状況について取り上げてほしい。(匿名希望)

■「個人情報保護法」に関する多方面からのご意見、プレゼン等。IT分野における「失敗学」的アプローチ。(雪野 清)

■スーパーマーケットなどにおいて売り上げを伸ばすために、どのような情報技術が使われているのか(個人情報をもどのように活かしているのかなど)について知りたいです。e-learningの最新動向について取り上げてほしいです。(片山聡一郎)

■オブジェクト指向分析・設計に関する特集を組んでいただきたい。(亀井靖高)

■インターネットの今後について。(田中 光)

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 祖父江恒夫、井上恵介/書評・ニュース分野】

## ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
  - ・記事テーマの提案
  - ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
  - ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
- なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>  
でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応 募 先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4603.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております。  
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)





IPSIJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ユビキタスITSとモバイルアプリケーション」 特集論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/05-E.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/05-E.html</a>	3月31日(木)		
	論文誌「ブロードバンド・ユビキタス・ネットワークとその応用」 特集論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-D.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-D.html</a>	5月9日(月)		
	論文誌「ユビキタス社会におけるコラボレーションサービス」 特集論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-C.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-C.html</a>	5月20日(金)		
	論文誌「ネットワーク生態学～生命現象から社会経済現象の新しいパースペクティブ～」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-G.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-G.html</a>	5月20日(金)		
	論文誌「新たな適用領域を切り開く情報システム」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-E.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-E.html</a>	6月15日(水)		
	論文誌「再考 分散システム/インターネットの運用・管理」 特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-H.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-H.html</a>	6月24日(金)		
3月14日(月)～	第139回知能と複雑系研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS139.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS139.html</a>	1月14日(金)	当日のみ	北海道 定山溪ビューホテル
3月16日(水)～	第91回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS91.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS91.html</a>	12月17日(金)	当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月17日(木)	第100回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL100.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL100.html</a>		当日のみ	東芝科学館ABホール
3月17日(木)～	第119回システムLSI設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLDM119.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLDM119.html</a>		当日のみ	倉敷芸術科学大学
3月18日(金)	第32回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第7回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MBL32UBI7.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MBL32UBI7.html</a>	1月14日(金)	当日のみ	玉川大学
3月17日(木)～	第55回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/GN55.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/GN55.html</a>	1月17日(月)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院大学
3月18日(金)	第53回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO53.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO53.html</a>	1月17日(月)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
3月17日(木)～	第147回ソフトウェア工学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SE147.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SE147.html</a>	2月7日(月)	当日のみ	東洋大学白山キャンパス
3月18日(金)	第36回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM36.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM36.html</a>	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
3月19日(土)	第27回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EIP27.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EIP27.html</a>	1月14日(金)	当日のみ	大阪市立大学 梅田サテライト
3月22日(火)～	第122回マルチメディア通信と分散処理・ 第28回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS122CSEC28.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS122CSEC28.html</a>	1月14日(金)	当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
3月23日(水)	第12回システム評価研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EVA12.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EVA12.html</a>	1月17日(月)	当日のみ	福岡システムLSI総合 開発センター
3月25日(金)	第78回情報学基礎・ 第49回デジタル・ドキュメント合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI78DD49.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI78DD49.html</a>	1月25日(火)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
4月4日(月)～	The 7th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2005) <a href="http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm">http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm</a>	9月15日(水)		Chengdu, China
5月12日(木)～	第149回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM149.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM149.html</a>	2月28日(月)	当日のみ	国立情報学研究所
5月13日(金)	第37回分散システム/インターネット運用技術研究会発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM37.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM37.html</a>	3月14日(月)	当日のみ	伊勢観光文化会館 (三重県)
5月18日(水)～	先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2005 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SACSIS2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SACSIS2005.html</a>	1月17日(月)		つくば国際会議場
5月20日(金)	第29回コンピュータセキュリティ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CSEC29.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CSEC29.html</a>	3月21日(月)	当日のみ	名古屋大学情報連携 基盤センター
5月19日(木)～	第60回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS60.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS60.html</a>	3月28日(月)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
5月26日(木)～	第167回自然言語処理第56回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL167SLP56.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL167SLP56.html</a>	3月18日(金)	当日のみ	東京工科大学
5月27日(金)	第56回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/GN56.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/GN56.html</a>	3月25日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
5月27日(金)	第92回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS92.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS92.html</a>	2月25日(金)	当日のみ	(社)情報サービス産 業協会会議室
5月27日(金)	第50回デジタル・ドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD50.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD50.html</a>	3月18日(金)	当日のみ	トッパン・フォームズ
5月27日(金)	第66回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH66.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH66.html</a>	3月22日(火)	当日のみ	花園大学
5月30日(月)～	20th IFIP International Information Security Conference (SEC2005) <a href="http://www.sec2005.org/">http://www.sec2005.org/</a>	11月15日(月)		幕張メッセ
5月31日(火)	第155回計算機アーキテクチャ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC155.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC155.html</a>	3月31日(木)	当日のみ	産業技術総合研究所 臨海副都心センター
6月16日(木)～	Visual Computing / グラフィクスとCAD 合同シンポジウム <a href="http://fuji03.sys.wakayama-u.ac.jp/vc2005/">http://fuji03.sys.wakayama-u.ac.jp/vc2005/</a>	3月11日(金)		JA長野県ビル会議場
6月17日(金)				

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月6日(水)～ 7月8日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2005) シンポジウム <a href="http://www.dicom.org/">http://www.dicom.org/</a>	3月15日(火)		ホテル志戸平 (岩手県花巻南温泉)
8月24日(水)～ 8月26日(金)	DAシンポジウム2005 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DA2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DA2005.html</a>		5月9日(月)	遠鉄ホテルエンパ イア
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/</a>		査読付: 4月28日(木) 一般: 6月3日(金)	中央大学 後楽園キャンパス
<b>2006年</b>				
1月23日(月)～ 1月27日(金)	2006年インターネット応用国際会議 (SAINT2006) <a href="http://www.saintconference.org/">http://www.saintconference.org/</a>		7月1日(金)	アメリカアリゾナ州 フェニックス
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (学会創立45周年記念イベント)			工学院大学 新宿キャンパス
3月8日(水)～ 3月10日(金)	第68回全国大会 (学会創立45周年記念大会)			工学院大学 新宿キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 2月2日 プライバシーポリシーを改訂いたしました
- 2月1日 平成17年度研究会登録申込を受付開始しました 学生会員1研究会無料申請受付中です!
- 1月31日 第67回全国大会プログラムを公開しました

[学会からのお知らせ]

- 2月17日 論文誌 (ジャーナル) の論文査読状況を更新しました
- 2月10日 「情報処理学会倫理綱領」 遵守のお願い
- 2月8日 「ネットワーク生態学～生命現象から社会経済現象の新しいパースペクティブ～」 特集の論文募集
- 2月7日 「新たな適用領域を切り開く情報システム」 特集の論文募集、「再考 分散システム/インターネットの運用・管理」 特集の論文募集
- 2月1日 平成17年度 役員・代表会員選挙について (投票締切: 3月1日(火))

# 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)  
賛助会員 (企業) 31,500 円 ( )  
賛助会員以外の企業 52,500 円 ( )  
\*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。  
\*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます (料金の追加はありません)。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

## ■筑波大学大学院図書館情報メディア研究科

**募集人員** 教授または助教授 1名  
**研究分野** 図書館情報学  
**担当科目** 図書館情報専門学群 (学部): デジタルライブラリ, データマイニング  
 図書館情報メディア研究科 (大学院博士前期課程): 知識集積管理論, 実験・演習  
 (大学院博士後期課程): 知識集積管理研究など  
**専門分野** 知識集積マネジメント: 知識集積 (データベース, 電子図書館, ハイブリッド図書館) の設計・構築・利用・評価に関する教育・研究  
**応募資格** 博士の学位, またはそれと同等の学識を有する方。年齢制限なし  
**着任時期** 平成 17 年 10 月 1 日  
**提出書類** 履歴書 (様式自由。備考欄に希望する職種 (教授, 助教授のいずれか) を明記), 研究・教育業績リスト (様式自由。ただし全業績について題目・発表年月日・掲載誌名・ページ数記載), 主要研究業績 (著書または論文 5 編, コピー可, それぞれ 200 字程度の要旨を添付すること), これまでの研究経過と着任後の研究計画\*, 教育研究についての抱負\*, 推薦を期待できる方 2 名の氏名 (推薦状は不要) \*A4 用紙 1 枚程度  
**応募締切** 平成 17 年 3 月 31 日 (必着)  
**送付先** 〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科長 磯谷順一  
 「図書館情報メディア研究科教員応募書類在中」と朱書し, 書留またはこれに準ずる宅配便  
 \*提出書類は原則として返却しません  
**照会先** 図書館情報メディア研究科 教授 葉袋秀樹 Tel(029)859-1334 (ダイヤルイン) Fax (029)859-1334  
**その他** 本学の定年退職予定期日は, 満 63 歳となった日の属する年度の末日です  
**【選考方法】:** 書類選考のほか, 面接を行う場合があります  
 研究科概要については, Web ページ <http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/> を参照のこと

## ■電気通信大学電気通信学部情報工学科

**募集人員** (a), (b), (d) 教授 1名 (c) 助教授 1名  
**所属** (a) コンピュータ学講座 (b), (c) ソフトウェア学講座 (d) 計算機応用学講座  
**専門分野** (a) 言語処理系, コンパイラ (b) ネットワーク指向コンピューティング (ネットワーク指向ソフトウェア, コンピュータネットワークなど) (c) ソフトウェア工学 (プログラム設計, プログラミング方法論, プログラミング言語なども含む広い意味のソフトウェア工学の分野) (d) データベース (データ工学, インターネット応用なども含む広い意味のデータベースの分野)  
**担当科目** (a) 言語処理系論, その他 (b) コンピュータネットワーク, その他 (c) ソフトウェア工学, その他 (d) データベース論, その他  
**応募資格** 博士の学位を有し, 大学院の研究指導ができること。研究・教育・学科運営に熱意があること  
 (詳細は <http://www.cs.uec.ac.jp/cs/koubo.html> 参照)  
**着任時期** 平成 17 年度のなるべく早い時期  
**提出書類** 履歴書, 研究業績リスト (次のように分類: 1. 著書, 2. 査読付き雑誌論文, 3. 国際会議論文, 4. 以下として, その他の論文, 招待講演, 解説, 特許, 外部資金獲得状況など), 主要論文別刷 (5 編, コピー可), 研究・教育に関する業績の概要と今後の計画 (A4 用紙 2 枚以内), 本人の所見が得られる方の名前と連絡方法 (4 名程度)  
**応募締切** (c), (d) 平成 17 年 4 月 25 日 (必着) (a), (b) 平成 17 年 5 月 16 日 (必着)  
**送付先** 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 電気通信大学電気通信学部情報工学科 学科長 岩田茂樹  
 封筒に (a) 「言語処理系公募書類」 (b) 「ネットワーク公募書類」 (c) 「ソフトウェア工学公募書類」 (d) 「データベース公募書類」と朱書し簡易書留 \*提出書類は返却しません。  
**照会先** 電気通信学部情報工学科 (a) 尾内理紀夫 E-mail: onai@cs.uec.ac.jp (b), (c) 岩崎英哉 E-mail: iwasaki@cs.uec.ac.jp (d) 野下浩平 E-mail: noshita@cs.uec.ac.jp \*郵便またはメールで連絡してください

## ■公立はこだて未来大学システム情報科学部

募集人員	教授、助教授または講師 若干名
専門分野	計算機工学関連分野のうち次の領域のいずれか。(a) マルチモーダルインタラクション、セマンティックウェブ、(b) ネットワークコンピューティング、グリッドコンピューティング、(c) リアルタイムシステム、組み込みシステム
担当科目	プログラミング言語論、プログラミング演習、人工知能プログラミング、オペレーティングシステム、インターネットテクノロジー、電子工学基礎、デジタル論理回路、電子センサ工学、コンピュータアーキテクチャ、情報アーキテクチャ演習、情報数学、解析学、線形代数、微分方程式などから演習を含む4科目程度
応募資格	着任時までに学位(博士)を取得可能であること。大学院での教育・研究指導の能力を有すること。学部教育および学部学科運営に熱意があること
着任時期	平成17年9月1日以降できるだけ早い時期
提出書類	詳細は、公立はこだて未来大学Webページ ( <a href="http://www.fun.ac.jp">http://www.fun.ac.jp</a> ) をご覧ください
応募締切	平成17年5月9日(必着)
送付先	〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116番地2 公立はこだて未来大学事務局 教務課教務係
照会先	情報アーキテクチャ学科 教授 川嶋稔夫 E-mail:kawasima@fun.ac.jp

## ■東京農工大学大学院生物システム応用科学教育部

募集人員	助教授 1名
所属	大学院共生科学技術研究所所属、生物システム応用科学教育部兼務
専門分野	メディア情報工学(たとえば、画像・映像処理、CV、CG、可視化、VR、音声処理、音楽情報処理、ヒューマンインタフェース、e-ラーニング、信号処理、生体情報工学、遺伝子情報工学など、広い分野から募集します)
担当科目	大学院：生体モデル知覚システム特論Iなど 学部：工学部情報コミュニケーション工学科の専門科目、卒業研究(具体的な科目は相談の上決定します。全教員で担当する実験・演習科目もあります)
応募資格	博士の学位を有し、専門分野における研究業績があること。情報工学分野の教育に熱意があること。年齢40歳未満が望ましい
着任時期	平成17年10月1日
提出書類	履歴書、研究業績リスト(特許なども含む)、主要論文印刷(5編程度、コピー可)、現在までの研究概要 <sup>*</sup> 、着任後の研究に関する抱負 <sup>*</sup> 、教育に関する抱負 <sup>*</sup> 、応募者についての照会先2名の氏名と連絡先 <sup>*</sup> はすべて1000字程度
応募締切	平成17年5月10日(ただしこれ以降でも候補者未決定の場合は受理します)
送付先/照会先	〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学 大学院生物システム応用科学教育部 教授 斎藤隆文 E-mail:txsaito@cc.tuat.ac.jp Tel/Fax(042)388-7143 「教員応募書類」と朱書き(簡易)書留

## ■(独)理化学研究所

募集人員	基礎科学特別研究員 70名程度
専門分野	物理学、化学、生物科学、医科学、工学の各分野で、理化学研究所で実施可能な研究
応募資格	平成18年4月1日現在35歳未満で、自然科学の博士号取得者またはこれと同等の能力を有すると認められる方 *日本国に永住権を有さない外国人にあつては、上記に加え次の条件を満たす方 (1)応募日現在に日本国に在住している方 (2)日本国の大学院博士課程を修了(見込みを含む)し、博士号を取得(見込みを含む)の方
着任時期	平成18年4月1日
応募締切	平成17年5月31日(必着)
送付先	〒351-0198 埼玉県和光市広沢2番1号 (独)理化学研究所研究調整部研究交流課 基礎科学特別研究員担当 E-mail:wakate@riken.jp Tel(048)467-9268(直通) Fax(048)463-3687
その他	(独)理化学研究所は、我が国の基礎研究を強力に推進するため、平成18年度の基礎科学特別研究員を募集します。斬新な研究課題を自主的に遂行できる若い研究者の応募を期待します 【待遇など(平成16年度実績)】：(1)謝金…月額48万7千円(社会保険料、税込) (2)通勤費…実費(上限4万5千円/月) (3)住宅費…家賃の一部支給 (4)研究費…130万円/年 【契約期間】：連続して最長3年間を限度とし、毎年度所要の評価により契約更新 【応募要項頒布】：4月上旬開始予定。応募要項の請求は、上記FaxまたはE-mailへ(1)郵便番号 (2)住所 (3)氏名(漢字) (4)氏名(カタカナ)を記入し、送信すること *要項代は無料 *本件は当研究所予算の成立を前提としており、その事情により変更になる場合があります





日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム  
(情報処理学会 創立 45 周年記念)  
「50 年後の情報科学技術をめざして」記念論文募集

1960 年の創立後、発展を続ける情報処理分野で一貫して指導的役割を果たしてきた情報処理学会は、2005 年 4 月をもって創立 45 周年を迎えることとなりました。日本初の電子計算機(ETL Mark III, FUJIC, PD1516)が誕生したのは 1956 年ですから、情報処理学会 45 周年は、日本の電子計算機が数え年で 50 歳を迎える記念すべき年にも当たります。この半世紀の間に、コンピュータ技術とネットワーク技術は比類のない進歩と広がりを見せました。巨大な産業が生まれ、猛烈なスピードで小型化・高速化・高機能化が進んでいます。わが国のコンピュータ技術は、スーパーコンピュータからゲーム端末や携帯電話までの幅広い領域で世界をリードしています。また、サービスとしての IT 産業も大変活発で、携帯電話向けのモバイルインターネットサービスでは世界で最も進んだサービスを提供しています。

こうした情報科学技術が、これから物質・環境・生命・医療などの先端科学技術と連携しながらさらに発展するためには、情報科学技術に関する長期的な視野とそれに向かうための短期的なロードマップが不可欠です。

そこで、情報処理学会では 45 周年を記念して、「50 年後の情報科学技術をめざして」というテーマのもとでの記念論文を募集することとしました。例えば、次のような課題のうちのいずれかについて論じることが考えられますが、投稿者の創意によって、全く新たな視点から議論を進めていただくことも大いに歓迎します。

- ・ 50 年後の人間社会がどの方向に進むか、そのなかで情報科学技術がどのような役割を果たすべきかについて論じる。
- ・ 50 年後の情報科学技術の萌芽となる理論や技術を示し、そのマイルストーンとなる重要課題を示す。
- ・ 人類に夢や幸福をもたらす情報科学技術のあり方を提案する。
- ・ 現在の情報科学技術のもつ課題について論じ、それを踏まえた情報教育のあり方を提案する。

投稿の詳細は、以下の応募要領の通りです。奮ってご応募ください。

**【募集要領】**

1. 対象 : 制限はありません。誰でも応募できます。
2. 論文の様式 : 日本語または英語で A4 で 10~20 ページ程度。1 ページ 1000 字程度 (英語の場合は 400words 程度) とします。
3. 論文投稿方法 : 印刷された論文または論文 PDF 版を情報処理学会事務局に送付してください。事務局からの受付通知をもって受け付けたものとします。  
なお、論文投稿の際はカバーシート (表紙) をつけてください。  
\*カバーシートはテキストファイルで作成してください。  
\*カバーシートは原稿の分量に含めません。  
<カバーシートの形式>
  - ・ 標題
  - ・ 著者名
  - ・ 論文概要(500 字程度)
  - ・ 著者連絡先 (勤務先、所属、郵便番号、住所、所属機関、電話、FAX、e-mail)
4. 論文投稿期限 : 平成 17 年 9 月 1 日 (木) (必着)
5. 入賞論文 : 最優秀論文 1 件、優秀論文数件を選定します。最優秀論文には賞金 20 万円、優秀論文には賞金 5 万円を贈呈し、その内容を情報処理学会誌に掲載します。
6. 入賞論文の発表と表彰 : 入賞論文は、「日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム」(平成 18 年 3 月 7 日 (火)) で発表し、表彰します。
7. 注意事項 : 投稿論文の内容は著者が最終責任を負えるものとし、著作権上問題のある論文の投稿や重複投稿はご遠慮ください。投稿論文は返却いたしません。入賞論文の著作権は当学会に帰属します。
8. 論文投稿・照会先 : 社団法人情報処理学会事業部門 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
TEL.03-3518-8373 (事業部門直通) FAX.03-3518-8375 e-mail: jigyo@ipsj.or.jp

ホームページ : <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/cfp.html>



**FIT2005 (第4回情報科学技術フォーラム)  
講演募集案内**

**【会期】2005年9月7日(水)～9日(金)**  
**【会場】中央大学後楽園キャンパス**  
(東京都文京区春日 1-13-27)

**FIT2005 ホームページ**  
<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/>

情報処理学会 (IPSJ) と電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) は、2002 年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2005 年 9 月には第 4 回目を中央大学 後楽園キャンパスで開催します。

本フォーラムは、IPSJ 全国大会と ISS ソサイエティ大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれず、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきており、前回の FIT2004 では 836 件の論文発表が行われました。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

また FIT の特徴の一つは、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**ヤングリサーチャー賞**からなるその論文表彰制度にあり、以下のようにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

<b>船井ベストペーパー賞</b>	査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会での論文審査と船井ベストペーパー賞選考会での発表審査に基づき <b>3 件</b> 選ばれます。賞金は <b>20 万円</b> です。
<b>FIT 論文賞</b>	査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会での論文審査と船井ベストペーパー賞選考会での発表審査に基づき <b>7 件程度</b> が選ばれます。賞金は <b>5 万円</b> です。
<b>ヤングリサーチャー賞</b>	2005 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者 (査読付き論文および一般論文) の中から、特に優れた発表をされた方、20 名程度が選ばれます。賞金は <b>3 万円</b> です。

**【講演募集内容】**

最近行った研究及び調査の報告、または成果を挙げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、査読付き論文と一般論文があります。

**査読付き論文**

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。採録論文は「**情報科学技術レターズ (Information Technology Letters)**」として独立した講演論文集に掲載します。査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 4 ページに緩和された論文ページ数を活用して下さい。査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います。

**一般論文**

論文ページ数・講演時間は、査読付き論文と同じですが、査読を行わない分、投稿メ切りが 2 か月程度遅くなります。

※なお、査読付き論文の募集を行わず一般論文のみの募集となる分野があります。詳しくは [応募分野] の項を御覧下さい。

**【募集分野】**

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。なお論文募集、査読付き論文の査読などは、情報処理学会の研究会と電子情報通信学会 (情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ (研究グループと時限研究会を含む)) で進めます。各分野に対応する研究会は以下のようになります。

なお、☆は情報処理学会、※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループを示します。

**B: ソフトウェア、M: ユビキタス・マルチメディア・セキュリティは査読付き論文の募集は行わず一般論文のみの募集となりますので御注意下さい。**

- A: モデル・アルゴリズム・プログラミング
  - A-1 ☆アルゴリズム (AL)
  - A-2 ☆数理モデル化と問題解決 (MPS)
  - A-3 ☆プログラミング (PRO)
  - A-4 ※コンピューテーション (COMP)
- B: ソフトウェア (一般論文のみ)
  - B-1 ☆ソフトウェア工学 (SE)
  - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)
  - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム (OS)
  - B-4 ☆デジタル・ドキュメント (DD)
  - B-5 ※ソフトウェアサイエンス (SS)
  - B-6 ※知能ソフトウェア工学 (KBSE)
- C: アーキテクチャ・ハードウェア
  - C-1 ☆計算機アーキテクチャ (ARC)
  - C-2 ☆システム LSI 設計技術 (SLDM)
  - C-3 ※コンピュータシステム (CPSY)
  - C-4 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)
  - C-5 ※リコンフィギャラブルシステム (RECONF)
- D: データベース
  - D-1 ☆データベースシステム (DBS)
  - D-2 ☆情報学基礎 (FI)
  - D-3 ※データ工学 (DE)
- E: 自然言語
  - E-1 ☆自然言語処理 (NL)
  - E-2 ※言語理解とコミュニケーション (NLC)
- F: 人工知能・ゲーム
  - F-1 ☆知能と複雑系 (ICS)
  - F-2 ☆ゲーム情報学 (GI)
  - F-3 ※人工知能と知識処理 (AI)
  - F-4 ※情報論的学習理論 (IBIS-TG)
  - F-5 ※ ネットワーク・ロボット (NR-TG)
- G: 音声・音楽
  - G-1 ☆音声言語情報処理 (SLP)
  - G-2 ☆音楽情報科学 (MUS)
  - G-3 ※音声 (SP)
- H: 生体情報科学
  - H-1 ☆バイオ情報学 (BIO)
  - H-2 ※ニューロコンピューティング (NC)
  - H-3 ※ME とバイオサイバネティクス (MBE)
  - H-4 ※医用画像 (MI)
- I: 画像認識・メディア理解
  - I-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)
  - I-2 ※パターン認識・メディア理解 (PRMU)
- J: グラフィクス・画像
  - J-1 ☆グラフィクスと CAD (CG)
  - J-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM)
  - J-3 ☆エンターテインメントコンピューティング (EC)
  - J-4 ※画像工学 (IE)

- K:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
  - K-1 ☆ヒューマンインタフェース(HI)
  - K-2 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
  - K-3 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
  - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
  - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
  - K-6 ※教育工学(ET)
  - K-7 ※異文化コラボレーション(SIGIC)
  - K-8 ※サイバーワールド(CW)
- L:ネットワークコンピューティング
  - L-1 ☆分散システム/インターネット運用技術(DSM)
  - L-2 ☆高品質インターネット(QAI)
  - L-3 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
  - L-4 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
  - L-5 ☆高度交通システム(ITS)
  - L-6 ※インターネット(IRC-TG)
- M:ユビキタス・マルチメディア・セキュリティ(一般論文のみ)
  - M-1 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
  - M-2 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
  - M-3 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
- N:教育・人文科学
  - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
  - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
  - N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
- O:情報システム
  - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
  - O-2 ☆システム評価(EVA)
  - O-3 ※オフィスインフォメーションシステム(OIS)
  - O-4 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)

**【論文ページ数・講演時間】**

論文ページ数は査読付き論文、一般論文とも2~4ページです。なお、3ページ目以降はエキストラページとなります。  
 論文ページ数: 2~4ページ  
 講演時間: 1件20分(発表時間15分, 質疑時間5分)

**【使用言語】**

日本語または英語

**【講演使用機器】**

査読付き論文、一般論文とも、PCプロジェクターとします。

**【申込主要日程】**

**査読付き論文**

- [登録申込/投稿受付開始]  
平成17年3月14日(月)
- [登録申込〆切り/査読用原稿の投稿〆切り]  
平成17年4月28日(木) 19:00
- [査読の採否結果通知]  
平成17年6月20日(月)
- [カメラレディ投稿〆切り]  
平成17年7月8日(金) 19:00

**一般論文**

- [登録申込/投稿受付開始]  
平成17年3月14日(月)
- [登録申込〆切り]  
平成17年6月3日(金) 19:00
- [カメラレディ投稿〆切り]  
平成17年7月8日(金) 19:00

**【申込みの方法, 注意事項】**

講演申込み及び論文原稿投稿は Web ページから電子的

に受け付けます。詳細は追って標記の FIT2005 ホームページへ掲載致しますので御確認下さい。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演部門の変更を行うこともございますので予めご了承下さい。

**【講演者の資格】**

講演者の資格は以下のとおりです。

<b>会 員</b>	情報処理学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(大韓電子工学会, IEEE/Com. Soc., IEEE/LEOS, IEEE/EDS, IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KISS, CSI)の個人会員に限りません。
<b>非会員</b>	上記の学会会員以外の方。

**【講演参加費(税込み)】**

講演参加費は、発表料、論文集 CD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、CD-ROMは FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でお引き渡しとなります。

また、登録申込み〆切後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容にもとづく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますのでご注意ください。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

**【エキストラページ費用(税込み)】**

エキストラ ページを利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 3,000 円/ページ

**【別刷代(査読付き論文の採録者のみ)(税込み)】**

査読付き論文に採録された方には論文の別刷(100部)をご購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無にかかわらず以下のとおりです。

別刷代: 20,000 円

**【講演者予稿分冊頒布】**

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を1部に限り、6,000円で、講演申込み時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合1部10,000円、団体購入の場合15,000円となります。

**【最新情報確認のお願い】**

FIT2005に関する最新情報は、標記の FIT2005 ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。  
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]  
 \* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375





最近本誌でも韓国の話題がよく取り上げられるようになり、楽しく読んでいます。そんな私はすっかり韓流にはまっています。昨年末に初めて韓国へ行ってきました。片手をぶらぶらさせた独特のフォームでタクシーをつかまえ、居酒屋で眞露（韓国焼酎）をショットグラスで飲み、気分はすっかりチェ・ジウで2泊3日の旅を堪能してきました。本号のコラム「アジア IT 事情」でも触れられていますが、韓国がこれほど日本と似ている面が多いとは知りませんでした。街並みも同じですし、外国人に対して少しシャイになる所も同じです。ドラマを見るまで韓国もおじぎをする民族だとは恥ずかしながら知りませんでした。韓国に実際行ってみて面白かったのが、地下鉄の車内で若い女性から年配の方までほとんどの方が携帯電話で話していたことです。日本では車内での通話は禁止されていますが、韓国では問題ないようです。というか、地下鉄の車内で携帯電話がつながることがすごいことだと思って

しまいました。かと思えば、切符を買う自動販売機ではお札が使えず窓口が人で渋滞しているのです。街中にはPCバンとDVDバンがあちこちに立ち並ぶ一方で、道路が舗装されておらずでこぼこで歩きづらかったりと、これもお国柄なのでしょう。よく日本が古いものと新しいものが混在していてエキゾチックな国と言われますが、私に言わせれば韓国の方がもっとエキゾチックで魅力的な街に思えます。またこの3月末にも行く予定にしております。今から楽しみです。

(後路啓子/会誌編集部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
<b>■ 会員サービス部門</b>			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
<b>■ 会誌編集部門</b>			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
<b>■ 研究部門</b>			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
<b>■ 事業部門</b>			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
国 際	intl@ipsj.or.jp		国際会議, IFIP 委員会
<b>■ 管理部門</b>			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
<b>■ 情報規格調査会</b>			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

## ご意見をお寄せください！

【4月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4603.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. (            )            -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ ..... 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 ..... 9-
10. 今月号 (2005年3月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[ a …大変参考になった b …よい c …普通, どちらとも言えない d …悪い e …読んでいない ]

### 特集：バイオインフォマティクス

バイオインフォマティクス概説.....	10-1-
バイオインフォマティクス研究者スキル.....	10-2-
システム生物学.....	10-3-
バイオ統計学.....	10-4-
医療・医学におけるバイオインフォマティクス .....	10-5-
バイオとナノテクの融合.....	10-6-
ポストゲノム時代の配列情報解析 .....	10-7-
組込みソフト産業の実態と開発の課題：組込みソフトウェア高品質化へのアプローチ .....	10-8-
Web サービス：情報システムにとっての SOA の役割 .....	10-9-
電力安定供給のための情報通信技術 .....	10-10-
動き始めた財務会計データ標準 XBRL .....	10-11-
アメリカ IT まわりの話題：米国流－新しい電話の使い方 .....	10-12-
アジア IT 事情：韓国の IT 事情 .....	10-13-
日本の IT 事情：変貌する秋葉原 .....	10-14-
20 世紀の名著名論：G. M. Weinberg : The Psychology of Computer Programming .....	10-15-
20 世紀の名著名論：David A. Patterson and Carlo H. Sequin : RISC I : A Reduced Instruction Set VLSI Computer.....	10-16-
インターネット生活向上委員会：高機能 Web サイトを手軽に構築 .....	10-17-
情報技術と教育：デザイン力 .....	10-18-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

コンピュータ・システムのメモリ解析等により、プログラムのオブジェクトコードが得られたが、コード列の区切りや構造、各コード・ブロックの機能やブロック間の関係は分からない。故障修復やシステム拡張のためにプログラムを変更するには、それらに対応する部分を特定した上で変更内容を決定し、さらに、変更が及ぼすシステムへの影響を見極めなければならない。これらの解析のためには、システムの振る舞いの観測と分析が必要である。この作業の膨大さと困難さは想像に難くない。人間が発明し、50年程度の歴史しかないコンピュータ・システムでさえそうなのだから、はるかに複雑な生命システムについてそのような作業をやるというのは、本当に気が遠くなる。しかし、何となくわくわくする気持ちを抱く研究者・技術者も、少なくないのではないだろうか。

近年の技術や社会の急速な発展に伴い、解決すべき課題が複

雑化し、旧来の学問体系では対応できなくなっている。こうした状況の中で生まれたバイオインフォマティクスやシステムバイオロジーは、生命科学と情報科学との融合分野である。当初は、コンピュータの持つ計算パワーをゲノム解読に活用することが中心であったが、研究の焦点がより高次の生命メカニズム解明に移ったポストゲノム時代の今日、情報科学の知識と経験が求められるようになってきている。

基礎研究のみならず、医療や産業化へつなぐ応用研究においても、バイオインフォマティクスの重要性がますます高まっている。この推進のためには、生命科学と情報科学の両分野の知識とスキルを有する人材が欠かせない。読者のうちで少しでも多くの方々が、わくわく感を持って、新しい領域への情報科学の応用に挑戦されることを期待したい。  
(山下博之/本特集エディタ)

次号(4月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」21世紀 COE プログラム情報拠点の目指す研究

知識メディアを基盤とする次世代 IT の研究/情報科学技術戦略コア/情報通信技術に基づく未来社会基盤創生/社会情報基盤のための音声映像の知的統合/知識社会基盤構築のための情報学拠点形成/ネットワーク共生環境を築く情報技術の創出/ユビキタス統合メディアコンピューティング/システム情報科学での社会基盤システム形成/電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ/プロダクティブ ICT アカデミアプログラム

解説

45周年記念特別寄稿：情報という言葉を探る(1) ..... 小野厚夫  
ソフトウェアプロテクションの技術動向(前編) -ソフトウェア単体での耐タンパー化技術- ..... 門田暁人・Clark Thomborson  
委員会から「情報システム論文」特集号の総括 ..... 神沼靖子

連載 Haskell プログラミング/組込みソフト産業の実態と開発の課題

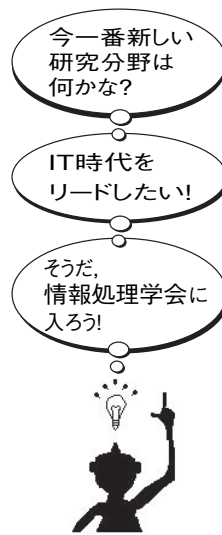
コラム アメリカ IT まわりの話題/情報技術と教育/電子認証いまむかし/20世紀の名著名論/日本の IT 事情

# 会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、  
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright by clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)  
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo  
107-0052, Japan  
E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp  
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA  
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744  
<http://www.copyright.com>



## 掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 <sup>※</sup>	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ  
お名前

\_\_\_\_\_

勤務先

所属部署

\_\_\_\_\_

所在地

(〒 - )

TEL ( ) -

FAX ( ) -

\_\_\_\_\_

ご専門の分野

\_\_\_\_\_

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会  
 発行部数 30,000 部  
 体裁 A4 判  
 発行日 毎当月 15 日  
 申込締切 前月 10 日  
 原稿締切 前月 20 日  
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム  
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm  
           1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm  
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

### ■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

\* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。  
 \* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

(株) 精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp